

宮城県感染症発生動向調査情報

平成27年10月22日発行

－ 2015.10.12 ～ 10.18 ・ 第42週 －

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	患者数	累計	第39週	第40週	第41週	第42週
水痘	3 0.60	1 0.10	1 0.20		2 0.67	4 0.80	6 3.00	14 0.52	31 0.53	1,247					○
流行性耳下腺炎		2 0.20			1 0.33			1 0.04	4 0.07	303					
百日咳									0 0.00	1					
感染性胃腸炎	20 4.00	20 2.00	6 1.20	5 2.50	11 3.67	4 0.80	1 0.50	82 3.04	149 2.53	15,665	○	◎	◎	◎	
手足口病	33 6.60	29 2.90	16 3.20	4 2.00	13 4.33	3 0.60	3 1.50	66 2.44	167 2.83	10,615	◎	◎	◎	◎	
伝染性紅斑	1 0.2		5 1.00			1 0.20		3 0.11	10 0.17	1,556					
突発性発しん	3 0.60	3 0.30	7 1.40		4 1.33	3 0.60	2 1.00	10 0.37	32 0.54	1,532	○	○	○	○	
ヘルパンギーナ		7 0.70	2 0.40	1 0.50				4 0.15	14 0.24	1,894	○	レ			
インフルエンザ	1 0.13	2 0.13							3 0.03	19,610					
咽頭結膜熱	2 0.40					1 0.20		4 0.15	7 0.12	1,031					
流行性角結膜炎									0 0.00	159					
急性出血性結膜炎									0 0.00	3					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36 7.20	10 1.00	1 0.20		2 0.67	21 4.20		35 1.30	105 1.78	5,854	◎	◎	◎	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	4					
無菌性髄膜炎									0 0.00	4					
マイコプラズマ肺炎				1 1.00				5 5.00	6 0.50	298					
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1					
RSウイルス感染症	26 5.20	27 2.70	3 0.60	2 1.00	4 1.33	11 2.20	4 2.00	71 2.63	148 2.51	1063	○	○	◎	◎	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	78					
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	4	1			1		2	6						
	川崎病														
	不明発疹症								6						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

2. 全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 結核
 - 塩釜管内 男性1名
 - 石巻管内 女性1名
 - 仙台南管内 男性3名、女性1名
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)
 - 塩釜管内 女性1名(第41週)
 - 大崎管内 男児*1名(第41週)
 - 4類感染症: 報告なし
 - 5類感染症: ウイルス性肝炎(B型)
 - 大崎管内 女性1名
 - クロイツフェルト・ヤコブ病
 - 仙台南管内 男性1名、女性1名(第41週)
 - 劇症型溶血性レンサ球菌
 - 気仙沼管内 女性1名(第40週)
 - 後天性免疫不全症候群
 - 仙台南管内 男性1名
 - 梅毒
 - 仙台南管内 男性1名
 - アメーバ赤痢
 - 仙台南管内 女性1名(第41週)
- *男児、女児は6歳未満

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
溶連菌感染症患者より
塩釜管内 第42週採取分 A群溶血性レンサ球菌 T-12 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第39週採取分 (9.21～9.27)	第40週採取分 (9.28～10.4)	第41週採取分 (10.5～10.11)
RSウイルス	4件	11件	17件
アデノウイルス	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス4型	1件	6件	1件

※RSウイルスの分離の多い状態が続いています。

4. 今週のコメント

◆結核について
2015年第42週現在、結核は宮城県内で262例の患者報告があり全数把握対象疾患で最も多くなっています。結核は結核菌が感染することで発症し、咳、発熱等の症状を示す肺結核が主ですが、腸や骨などの他臓器にも病変を示すことがあり、重症化すると死亡する場合もある感染症です。一度発症すると治療に時間を要することもあり、予防が重要で、BCG接種が有効です。また、発症した際には家族や友人など周囲への感染を防ぐため、早期発見・早期治療が重要で、定期的に健康診断を受け、長く続く咳、痰(血痰)が出る、全身倦怠感、微熱が続く等の症状がある場合は診療を受けてください。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

- [手足口病]
仙南、塩釜、大崎、栗原、登米、仙台南管内で警報継続中
- [A群溶血性レンサ球菌感染症]
仙南管内で警報継続中

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansens-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

